

持込修理

東芝防水型SD/CDラジオ保証書

形名		TY-CB100									
★お 客 様	お名前	ふりがな									
	ご住所	〒□□□-□□□□									
	電話	市外	市内	番号	呼						
保証 期間	本 体	1年				★お買い上げ日 □□年□□月□□日から					
	★ご販売店	住所・店名 電話									

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

東芝エルイトレーディング株式会社

〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-8（東芝万世橋ビル）

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの記載内容にそった正しいご使用のもとで、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にそって無料修理をさせていただきますことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生したときは、本書と商品をご持参のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

★印欄に記入がないときは無効です。本書をお受け取りの際は必ず記入をご確認ください。また本書は再発行しませんので紛失しないように大切に保管してください。

1. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。

- (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
- (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
- (ハ) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
- (ニ) 本書のご提示がない場合。

(ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書き換えられた場合。

(ヘ) 一般家庭用以外（たとえば業務用など）に使用された場合の故障、損傷。

2. 出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

3. 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。

4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

5. ご転居またはご贈答品などで、お買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、東芝エルイトレーディングサポートセンターへご相談ください。

東芝エルイトレーディングサポートセンター

0120-28-0488

受付時間：365日
9:00～20:00

携帯電話・IP電話など
050-3786-0488（通話料：有料）
FAX
03-3258-0470（通話料：有料）

- ・お客様からご提供いただいた個人情報とは、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

- ・保証書にご記入いただいたお客様の住所・氏名などの個人情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- ・修理のために、当社から修理委託している保守会社などに必要なおお客様の個人情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および当社と同様の個人情報保護規程を遵守させていただきますので、ご了承ください。

東芝エルイトレーディング株式会社

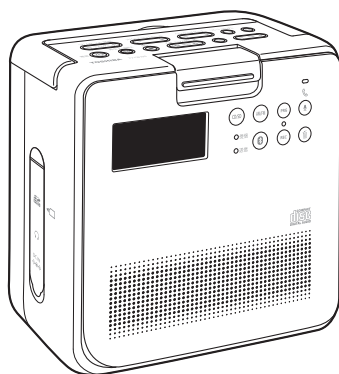
〒101-0021 東京都千代田区外神田1-1-8（東芝万世橋ビル）

TOSHIBA

東芝 防水型SD/CDラジオ 取扱説明書

形 名

TY-CB100



お買い上げいただきありがとうございます。

- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになったあとは、必要なときすぐに取り出せるように大切に保管してください。

保証書付

- 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、お買い上げ日、販売店名などの記入をお確かめください。

日本国内専用
Use only in Japan

ご使用前に

準備

聴く

使いこなす

こんなときには

目 次

ご使用前に

安全上のご注意	3
防水について	7
CDについて	8
SDカードについて	9
Bluetooth®について	10
各部のはたらき	11
前面/左側面	11
背面	11
液晶表示部/前面操作部	12
上面操作部	13
リモコン	14
付属品	14

準 備

電源について	15
乾電池(別売り)でご使用のとき	15
家庭用電源(AC100V)で ご使用のとき	16

聴 く

共通操作について	17
CDを聴く	18
CD再生中の操作のしかた	19
SDカードの音声を聴く	20
SDカード再生中の操作のしかた	21
いろいろな聴き方	22
プログラム再生	22
リピート再生・ランダム再生	23
A-Bリピート再生	23
ラジオを聴く	24

周波数を選んで FM/AM放送を聴く	24
放送局を選んで プリセット登録をする	24
プリセット登録した放送局を選んで FM/AM放送を聴く	25
よりよい受信をするために	26
FMステレオ放送の受信について	26

Bluetooth® 対応機器を使う

Bluetooth® 対応機器の音声を聴く (受信モード)	27
Bluetooth® 対応機器から音声を聴く (送信モード)	28
電話をする(ハンズフリー)	29

使いこなす

SDカードに録音する	30
SDカードを準備する	30
音楽CDを録音する	31
マイク音声を録音する	32
録音したデータを消去する	33
SDカードを準備する	33
データを消去する	33

こんなときには

お手入れのしかた	35
本体のお手入れ	35
CDピックアップ(レンズ)部	35
故障かな?と思ったとき	36
仕 様	38
保証とアフターサービス	39

安全上のご注意

必ずお守りください

- お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための安全に関する重要な内容を記載しています。次の内容(表示・図記号)をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明



警告

「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。



注意

「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

図記号の説明



中の絵と近くの文で、してはいけないこと(禁止)を示します。



中の絵と近くの文で、しなければならないこと(指示)を示します。

もし異常が起これたら

警告



指示

- 異常・故障時には、すぐに使用を中止し、ACアダプターを抜く(異常・故障例)

- ・煙が出たり、異常なおいや音がある
 - ・内部に水や異物が入った
 - ・ACアダプターが傷んでいる
 - ・音声が出ないことがある
 - ・ACアダプターが異常に熱い
 - ・本体に変形や破損した部分がある
- 火災・感電の原因となります。
すぐにACアダプターを抜き、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

ACアダプターについて

警告



指示

- ACアダプターは交流100Vコンセントに根元まで確実に差し込む
- 本機の電源スイッチを切っても、内部の電源は完全に切れていないので、万一の事故や故障に備えるために、ACアダプターはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続する
- ACアダプターの刃や刃の取り付け面にゴミやホコリがついている場合は、ACアダプターを抜き、ゴミやホコリをとる
- ACアダプターを取り扱うときは、次のことを守る
 - ・傷つけない
 - ・引っ張らない
 - ・無理に曲げない
 - ・延長するなど加工しない
 - ・重いものを載せない
 - ・ねじらない
 - ・加熱しない
 - ・はさまない
 - ・束ねない
- ACアダプターをコンセントから引き抜くときは、ACアダプターを持って引き抜く
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因となります。



禁止

- ぬれた手でACアダプターを抜き差ししない
火災・感電の原因となります。

安全上のご注意(つづき)

⚠ 注意



指示

- 長時間使わないときやお手入れのときは、ACアダプターをコンセントから抜く

火災・感電の原因となります。



禁止

- ACアダプターは付属のもの以外を使用しない

- 付属のACアダプターを他の機器に使用しない

火災・感電の原因となります。

ご使用について

⚠ 警告



指示

- 持ち運ぶときは、ACアダプターをコンセントから抜く

- 落としたり、強い衝撃を与えて本体が破損したときは、すぐに電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く

火災・感電・けがの原因となります。



禁止

- 分解・修理・改造はしない

- CD挿入部に手を入れない

- 異物を入れない

- 雷が鳴り出したら、アンテナ・ACアダプターに触れない

火災・感電・事故の原因となります。

⚠ 注意



禁止

- 水滴や水しぶきのかかるところに置かない(ACアダプター、リモコン使用時)

- 花瓶など液体の入ったものを本機の上に置かない

- 本機の上に乘ったり、上に重いものを置いたりしない

- 円形ディスク以外は使用しない

- 長時間、音が歪んだ状態で使わない

けが・故障・火災などの原因となります。

- CDピックアップをのぞき込まない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

- ヘッドホンの音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きい音量で長時間聴き続けると、聴力障害の原因となります。

設置について

⚠ 警告



禁止

- 次のような場所には置かない、使用しない
 - ・火のそば、暖房機器のそばなどの高温になる場所
 - ・直射日光の当たる場所、炎天下の車内 ・ホコリの多い場所
 - ・調理場など油煙や湯気の当たる場所 ・振動の強い場所
 - ・腐食性ガス(亜硫酸ガス、硫化水素、塩素ガス、アンモニアなど)の発生する場所
 - ・極端に高温、低温、温度変化の激しい場所
 - ・ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所
本機の破損・火災・感電の原因となります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近く
- 心臓ペースメーカーを装着している方は装着部から22cm以内
本機からの電波の影響で、誤作動による事故の原因となります。

お願い

- 近くに置いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

防水について

⚠ 警告



指示

- お風呂やキッチン、プールサイド、アウトドアなど、水がかかる場所では乾電池を使う
- 電池ぶたと防水用端子カバーは確実に閉めて使う(リモコン使用不可)
- 防水用端子カバーに、汚れや傷を付けない
- 水中に落としたり、多量の雨や水滴が付いたりしたときは、すぐに乾いた布でよくふき取る
- 水に濡れた後は、本体のすき間に水がたまっていることがあるので、軽く振って水を抜いてからふき取る
ショート・感電の原因になります。



禁止

- お風呂やキッチン、プールサイド、アウトドアなど、水がかかる場所ではACアダプターを使用しない
- 水中に沈めて使用しない
- 内部に水を入れない
- 本機が落ちて水没する可能性がある場所には置かない
- 石けんや洗剤、入浴剤の入ったお湯や水には浸さない
ショート・感電の原因になります。

安全上のご注意(つづき)

乾電池について

⚠ 警告



指 示

- 電池が正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一または同タイプのものだけを使用する
火災・感電・けがの原因となります。

⚠ 注意



指 示

- 乾電池を取り扱うときは、次のことを守る
 - ・指定以外の電池は使用しない
 - ・極性表示を間違えて挿入しない
 - ・充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れない
 - ・乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は入れておかない
 - ・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない
 - ・本体からACアダプターを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない
 - ・長時間使用しないときは、本体から乾電池を取り出す
 - ・水にぬらしたり、ぬれた手で触れない
 - ・直射日光の当たる場所や火の近くなどの熱源の近くに置かない。
発熱・液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液に触れたときは、水でよく洗い流し医師に相談してください。器具についた場合は、液に直接触れないでふき取ってください。

免責事項について

- 地震・雷・風水害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この商品の不具合により再生・録音ができなかった場合や、録音した内容が破損・消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償および、それに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて録音内容の修復や複製、復元などはいたしません。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことによって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本機はすべてのSDカードに記録されているオーディオファイルの再生を保証するものではありません。
- 本機はすべてのBluetooth®対応機器のワイヤレス通信を保証するものではありません。

著作権について

- お客様が録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

録音についてお願い

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に録音機能のチェック・ためし録りをしてください。

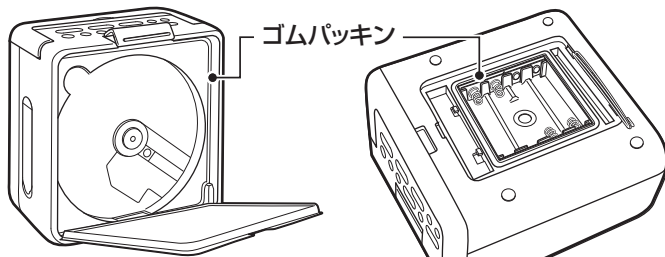
防水について

■ 本機の防水性能について

- 本機は、防水用端子カバーと CD ドアを確実に閉め、電池ぶたスライドロックをロックした状態で、JIS C 0920「電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」の IPX5 相当の防水性能が保証されます。
 - 完全防水ではないため、直接水を掛けたり、水の中に沈めたりすると、内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。
- * IPX5 相当とは、「あらゆる方向からの水 (真水と水道水のみ) の噴流水を受けても製品の機能を保護する」ものです。

■ 防水性能を保つためには

- 次の点を必ずご確認ください。正しくお使いください。
- ・ 電池ぶたは、完全に閉まっていることを確認し、電池ぶたスライドロックをロックしてお使いください。
- ・ 電池ボックスの内部には、防水性能を保持するためにゴムパッキンを設けています。ゴムパッキンと、ゴムパッキンが接触する箇所 (電池ぶたの裏側など) との間にゴミなどが付着すると、防水性能を保持できなくなり、故障の原因となります。ゴミなどが付着している場合は、繊維の残らない柔らかい布などで拭き取ってください。
- ・ ゴムパッキンの表面に傷や破損などが発生すると、防水性能が保持できなくなり、故障の原因となります。傷や破損しないように取り扱いに十分注意してください。また、ゴムパッキンは、長期間の使用や環境によって劣化するおそれがあります。ゴムパッキンに劣化が認められる場合は、お買い上げの販売店に相談してください。
- ・ 本機は耐水圧設計ではないため、水中に沈めたり、水道の蛇口やシャワーから勢いのある水を直接かけたりしないでください。
- ・ 本機は許容動作温度の範囲内 (0℃～35℃) でお使いください。
- ・ 本機に付着した水滴を乾燥させるなどのためにドライヤーなどの機器からの熱風を直接あてないでください。また、高温になる場所では絶対に使用しないでください。
- ・ 本機を落下させたりして、衝撃を与えないでください。変形や破損により、防水性能が劣化する原因となることがあります。



■ 本機のお手入れのしかた

- 本機が濡れたときは、乾いた布で必ず水滴を拭き取り、風通しの良い場所で水分がなくなるまで乾燥させてください。そのまま放置すると、故障の原因となることがあります。
- 本機のスピーカー部の穴に水が付着すると、音質が少し変わることがありますが故障ではありません。乾いた布やタオルなどの上にスピーカー部を下にして置き、そのままの状態でも水分がなくなるまで乾燥させてください。

CDについて

■ CDの種類について

-  マークの入ったものなど、JIS規格に準拠したディスクをご使用ください。
- 円形ディスク以外は使用しないでください。円形以外の特殊な形状(ハート型、カード型など)をしたディスクを使用すると、高速回転によりディスクが飛び出し、けがの原因となることがあります。
- 反射率が低いディスクは情報を読み込めない場合があります。
- コピーコントロールCD や特殊形状など規格外のディスクは再生できません。

■ CDやCD-R/RWディスクについて

- この商品は、CD-DAフォーマット* / MP3オーディオファイルで記録されたCD-R/RWディスクを再生することができます。ただしディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
- 未記録のCD-R/RWディスクを入れしないでください。ディスクの読み込みに時間がかかることがあります。誤って回転中にディスクを取り出そうとすると、ディスクが傷つくことがあります。
- VCD(ビデオCD)は再生できません。
- CDやCD-R/RWディスクはディスクテーブルのキャッチャーにしっかりとめ込んでください。正しくホールドされていない場合、ディスクに傷がついたり故障の原因となります。
- CDやCD-R/RWディスクが正しくセットされていない場合や読み取れないディスクが入っている場合、「CDを入れてください」が表示され、再生できません。
- CDやCD-R/CD-RWに傷、指紋、ホコリがついていると、再生できないことがあります。一部再生できた場合でも音がとんだり、停止することがあります。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- 個人が楽しむ以外の不正コピーは著作権法上禁止されています。

* CD-DAは、Compact Disc Digital Audioの略で、一般オーディオCDに使用されている音楽収録用の規格です。

■ 取り扱い・保管について

(機器の故障原因になりますので次のことをお守りください)

- CDに紙やシールを貼らない。
- CDを曲げない。
- 必ず専用ケースに入れて保管する。
- 直射日光の当たる所、暖房器具の近くなど温度が高くなる所には置かない。

■ CDのお手入れについて

- 再生する前に、再生面についたホコリ、ゴミや指紋などを柔らかい布で中央から外側に向かって拭いてください。
- シンナーやベンジン、アルコールは使用しないでください。

SDカードについて

- すべてのSDカードとの接続を保証するわけではありません。
- 本機は、SD規格に準拠したSDカードに記録されたMP3オーディオファイルを再生します。
- 著作権保護付きの音楽ファイルは再生できません。
- SDカードは基本的に32MBから32GBまでのFAT16またはFAT32に対応しています。FAT12には対応していません。
- デジタルカメラや携帯電話などの画像データの入ったSDカードは、録音・再生できません。
- マイクロSDカードやミニSDカードは、SD変換アダプターが必要です。
- SDカードの読み込み時の表示は、総フォルダー数(F)と総ファイル数(T)です。
- 再生可能なフォルダー数は最大999、ファイル数は1フォルダーで最大1100です。
- SDカードを利用する場合は、それぞれの取扱説明書に従ってください。記録状態によっては再生できない場合があります。
- SDカードに触れる際は、接地された金属などに触れるなどいったん身体の静電気を放出してください。データ消失や故障の原因になります。
- SDカードでの再生中に振動や衝撃を与えたり、再生中に取り出したりしないでください。データ消失や故障の原因になります。必ず電源を切ってから取り出してください。
- パソコンなど他の機器で作成編集されたSDカードを再生した場合、フォルダー構成が変わることがあります。
- 反りなど変形したSDカードは正しく接続されなかったり、取り出せなくなったりするので、使わないでください。
- SDカードの直射日光の当たる場所での使用は、データ消失や故障の原因になります。
- SDカードをぶつけたり、落したり踏みつけたりなど強い衝撃を与えないでください。
- SDカードにフォーマットが必要なときは、それぞれ専用のソフトウェアで行ってください。
- 規格団体SDAに認定されていないSDカードについては、読み込まなかったり、再生しなかったり、録音できなかったりすることがあります。認定されているSDカードには、それぞれの認定マークが表示されています。
- SDデジタルオーディオプレーヤーについては機能や仕様によって読み込み／録音／再生できない場合があります。
- SDカードは、規格に準拠している東芝製をおすすめします。
- 録音可能時間の目安
録音フォーマットがMP3、ビットレートが192kbps(固定)の場合、SDカードへの録音可能時間は、次の通りです。

容量	録音可能時間
2GB	約23時間
4GB	約45時間
8GB	約90時間
16GB	約180時間
32GB	約360時間

Bluetooth® について

Bluetooth®とは電子機器同士をワイヤレス(無線)でつなぐことにより、ケーブルを使わずに接続する技術のことです。本機とBluetooth®対応機器をワイヤレス接続し、音声を楽しむことができます。

- 本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は必要ありません。

ただし、本機に以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。

- ・分解、改造すること
 - ・本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 日本国内のみで使用してください。各国の電波法に抵触する可能性があります。
 - 電波障害について
他のエレクトロニクス機器の近くに設置した場合、正常に動作しない可能性があります。
 - 使用制限
 - ・すべてのBluetooth®対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。
 - ・本機と接続するBluetooth®対応機器は、Bluetooth SIG の定めるBluetooth®標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth®標準規格に適合していても、Bluetooth®対応機器の特性と仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - 使用可能距離について
本機に接続するBluetooth®対応機器は、見通しの良い場所で約10メートル以内で使用してください。
周囲の環境や建物の構造などによって、使用可能距離が短くなる可能性があります。

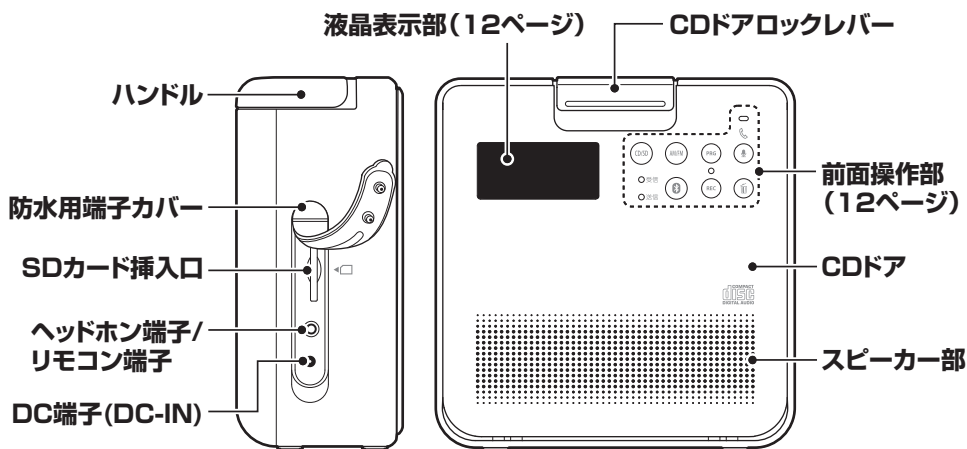
- 本機の使用周波数(2.4GHz帯)は、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局、免許を要さない特定小電力無線局などが運用されています。

他の機器との干渉を防止するために、以下の点に十分注意してご使用ください。

1. 本機を使用する前に、近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から他の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合、速やかに電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、「東芝エルイー トレーディング サポートセンター」へお問い合わせください。

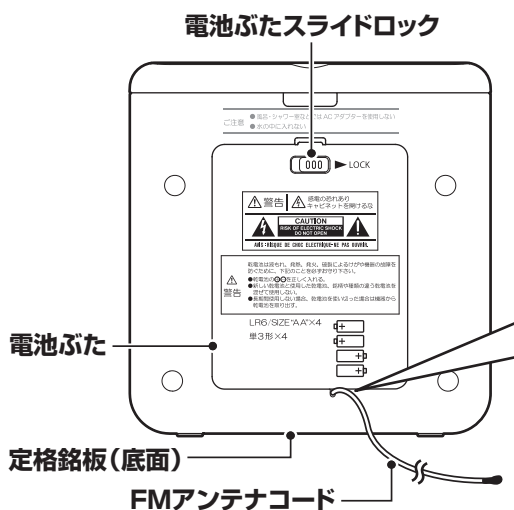
各部のはたらき

前面 / 左側面

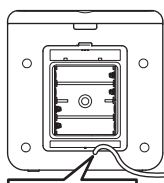


ご使用前に

背面



■FMアンテナコードを引き出すときは



電池ぶたと本体の間にFMアンテナコードを挟んで閉じると、防水性能が保持できない恐れがあります。コードはぶたと本体に挟まないよう、必ず切り欠きからコードを引き出してください。

■FMアンテナコードを収納するときは



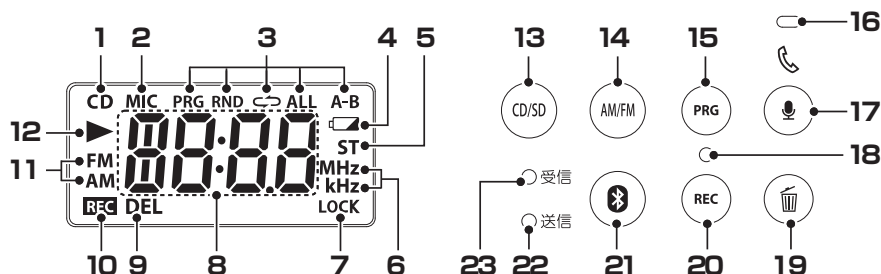
FMアンテナコードを収納するときは、アンテナ収納部に収納します。ガイドの間にコードを押し込み、収納部からコードがはみ出さないように収納してください。

アンテナ収納部



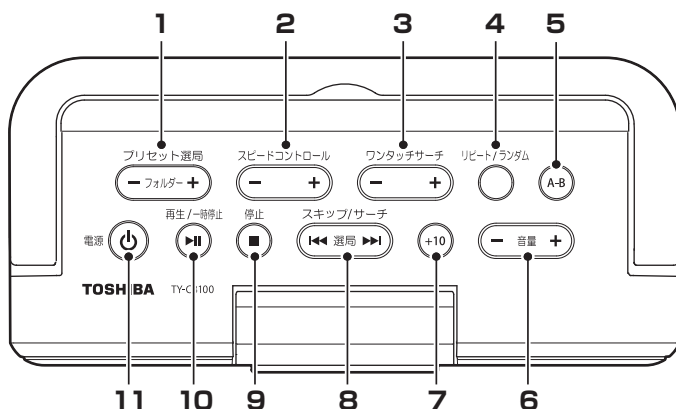
各部のはたらき(つづき)

液晶表示部 / 前面操作部



No.	なまえ	はたらき
1	CD	・CDモード時に表示
2	MIC	・マイク使用時に表示
3	PRG/RND/↺/ALL/A-B	・プログラム/ランダム/1曲リピート/全曲リピート/A-Bリピート再生時に表示
4		・電池残量を表示
5	ST	・FMステレオ放送受信時に表示
6	MHz/kHz	・周波数の単位が表示
7	LOCK	・SDカードがロックされている時に表示
8	00000000	・周波数、再生時間、曲情報などを表示
9	DEL	・データを削除するときに表示
10	REC	・録音時に表示
11	FM/AM	・選択したラジオを表示
12		・CD/SD再生時に表示
13	CD/SD	・音源を「CD」/「SD」に切り替える
14	AM/FM	・音源をラジオ受信にし「FM」/「AM」の放送に切り替える
15	プログラム	・音楽のプログラムを設定する ・ラジオのプリセット登録をする
16	マイク入力	・音声を入力する
17	通話/マイク	・通話する/音声入力をオン・オフする
18	SD録音ランプ	・SDカード録音時に点灯する
19	削除	・SDカードの内容を削除する
20	SD録音	・SDカードに録音する
21	Bluetooth®	・Bluetooth®を「受信モード」/「送信モード」に切り替える
22	Bluetooth®送信ランプ	・Bluetooth®送信時に点滅・点灯する
23	Bluetooth®受信ランプ	・Bluetooth®受信時に点滅・点灯する

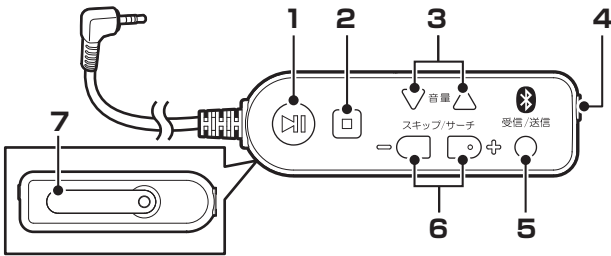
上面操作部



No.	なまえ	はたらき
1	プリセット選局/ フォルダー	- プリセットしたラジオ局を選択する(プリセット選局) - MP3のフォルダーを選択する(フォルダー)
2	スピードコントロール	再生中の音楽の速度を変更する
3	ワンタッチサーチ	- 音楽再生中に3秒戻す(－) - 音楽再生中に10秒進む(+)
4	リピート/ランダム	「リピート再生」/「ランダム再生」を設定する
5	リピートA-B	「リピート再生(特定の区間(A-B))」を設定する
6	音量	音量を調節する
7	+10	10曲(トラック)先(+10)の曲(トラック)を選択する
8	スキップ/サーチ/選局	- 前の曲(トラック)や次の曲(トラック)を聴く(スキップ) - 早送り/早戻しをする(サーチ) - ラジオの選局をする(選局)
9	停止	再生中の音楽、録音を停止する
10	再生/一時停止	音楽を「再生」/「一時停止」にする
11	電源	電源を「入」・「切」する

各部のはたらき(つづき)

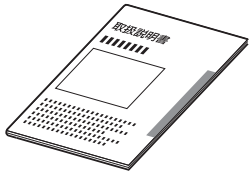
クリップ付きリモコン



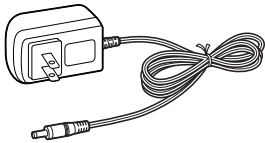
No.	なまえ	はたらき
1	再生/一時停止	・音楽を「再生」/「一時停止」にする
2	停止	・再生中の音楽、録音を停止する
3	音量	・音量を調節する
4	ヘッドホン端子 (リモコン使用時)	・ヘッドホンを接続する
5	BT受信/送信	・Bluetooth®を受信/送信モードにする(送信モード時は長押し)
6	スキップ/サーチ	・前の曲(トラック)や次の曲(トラック)を聴く(スキップ) ・早送り/早戻しをする(サーチ)
7	クリップ	・リモコンを固定する

付属品

・保証書付取扱説明書(本書)



・ACアダプター



・クリップ付きリモコン



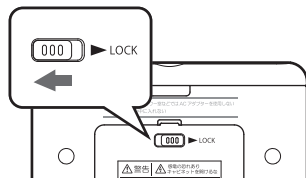
電源について

お願い

- 本機をお風呂やキッチン、プールサイド、アウトドアなど、水がかかる場所で使う場合は、必ず乾電池を使ってください。
- 近くに置いたテレビの画面に色ズレを生じたり、本機のラジオにテレビからの雑音が入る場合は、本機をテレビから離してご使用ください。

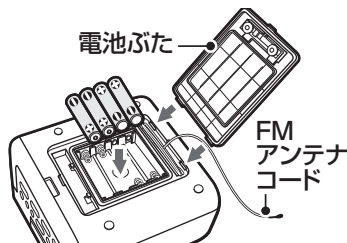
乾電池(別売り)でご使用のとき

- 1** 本体背面にある電池ぶたスライドロックを矢印の方向にスライドさせロックを解除し、電池ぶたをはずす



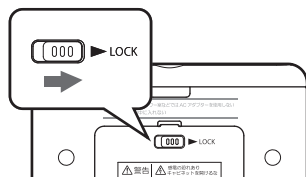
- 2** 別売りの単3乾電池4本を図のように入れ、電池ぶたのフック(2か所)を溝に入れてふたを閉める

- 極性(⊕と⊖)を間違えないように⊖側から図のように入れます。
- ふたを閉めるときは、FMアンテナコードを挟まないように注意してください。



- 3** 本体背面にある電池ぶたスライドロックを矢印の方向に移動させロックをする

- 長期間(1カ月以上)使用しない場合やACアダプターで使用する場合は、乾電池を取り出しておいてください。



乾電池の交換時期は…

- 乾電池が消耗してくると、液晶表示の電池マーク  が点滅します。新しい乾電池に4本同時に交換してください。

そのまま使い続けると、音が小さくなったり、音が歪んだり、音が飛んだり、CDが正常に動作しなくなります。

お願い

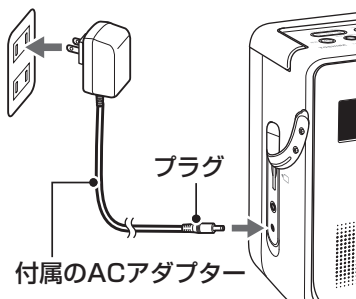
- 本機は電源を切った状態でも、わずかですがメモリーを保持するための電流が流れています。そのため、ACアダプターを抜いた状態で乾電池を入れたまま長時間放置すると乾電池の消耗が進みます。また、液もれの原因となることがあるため、長期間ご使用にならないときは、乾電池を取り出しておいてください。

電源について(つづき)

家庭用電源(AC100V)でご使用のとき

1 防水用端子カバーを開き、ACアダプターのプラグを側面のDC端子(DC IN~)へ差し込む

- ACアダプターのプラグは必ず奥まで確実に差し込んでください。ACアダプターのプラグが途中までしか入っていないと、プラグが抜けやすくなったり、電源が入らないことがあります。



2 ACアダプターをAC100Vのコンセントへ差し込む

お知らせ

- ・ ACアダプターのコードを長時間使用すると、少し熱を持ちますが故障ではありません。

お願い

- ・ 長時間使わないときは、ACアダプターのプラグをコンセントから抜いてください。
- ・ ACアダプターを抜き差しするときは、電源  を押して電源を切った状態にしてください。

共通操作について

●本機の電源がONの状態で作る場合

ボタンの押しかたについて

- 押す…短く押して離すことです(2秒未満)。
- 長押しする…長く押し続けることです(2秒以上)。

電源を入れる	電源  を押す 電源が入ります。 初めて電源を入れると、液晶表示部に「CD」と「----」が表示されます。 ・2回目からは、最後に使ったモード(CD/SD/FM/AM)が表示されます。最後に使ったモードがFMまたはAMの場合は、最後に設定した放送局を受信します。
音量を調節する	 音量  を押す ・音量は「00(最小)」から「31(最大)」の32段階まで調節できます。
ヘッドホン(別売)で聴く	防水用端子カバーを開き、ヘッドホン(φ3.5mmステレオミニプラグ)を側面のヘッドホン端子()に接続する ・クリップ付きリモコンをご使用の場合は、リモコンのヘッドホン端子に接続してください。 ・ヘッドホンをつなぐと、スピーカーから音は出なくなります。 
電源を切る	電源  を押す ・液晶表示部が消え、電源が切れます。

CDを聴く

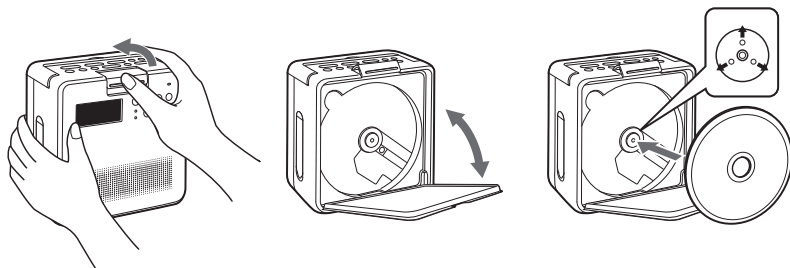
・本機で再生できるディスクについては8ページをご覧ください。

1 電源 を押し、 を押して「CD」に切り替える

- 電源が入ります。
-  を押すたびに液晶表示部が「CD」⇒「SD」⇒「CD」…と切り替わります。

2 本体をしっかり支えながらCDドアロックレバーをはずし、CDドアを開け、印刷面を手前にしてCD装着部にCDをセットする

- CDは正しい向きで入れてください。ラベル面が前面側です。
- CDは軸にしっかりはめ込んでください。



3 CDドアを閉め、本体をしっかり支えながらCDドアロックレバーを閉める

- CDを挿入すると、液晶表示部に「CD」と「---」が点滅し、CDの読み込みが始まります。
- CDが読み込まれると、液晶表示部に以下の通り表示されます。
CD-DA：「総トラック数」と「総再生時間」
MP3ディスク：「総フォルダー数」と「総トラック数」

4 再生/一時停止 を押す

- 再生が始まります。再生中の操作のしかたは、「CD再生中の操作のしかた」(19ページ)をご覧ください。
- 液晶表示部に以下の通り表示されます。
CD-DA：「トラック番号」と「再生経過時間」
MP3ディスク：「トラック番号」

お願い

- ・本機をお風呂やキッチン、プールサイド、アウトドアなど、水がかかる場所で使う場合は、必ず乾電池を使ってください。また、防水用端子カバーとCDドアを確実に閉め、電池ぶたスライドロックをロックした状態でお使いください。正しくお使いいただかないと、内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。
- ・CDドアロックレバーを開閉するときは、本体をしっかり手で支えながら操作してください。

お知らせ

- ・CDが入っていない場合は「noCd」が、CDが読み込めない場合は「Err」が液晶表示部に表示されます。

CD再生中の操作のしかた

再生する	再生 / 一時停止  を押す ディスクの再生が始まります。 - 液晶表示部に以下の通り表示されます。 CD-DA：「再生経過時間」 MP3ディスク：「再生経過時間」 1曲目(ファイル)から最終曲(ファイル)まで順に再生し、曲が終了すると停止します。 - レジューム動作時では、前回停止した位置から再生されます。
一時停止する	再生 / 一時停止 再生中に  を押す - 液晶表示部の「▶」が点滅します。 - もう一度押すと再生が始まります。
停止する	停止 再生中に  を押す - 液晶表示部に以下の通り表示されます。 CD-DA：「トラック番号」と「再生経過時間」 MP3ディスク：「総フォルダー数」と「総トラック数」 停止  を一度押すとレジューム動作(次回再生時に同じ位置からの再生)となります。レジューム動作を解除するには  を2回押します。
前の曲や次の曲を聴く (スキップ)	スキップ / サーチ 再生中・一時停止中・停止中に  を押す  を押すと次の曲へ進みます。 - 再生中に  を1回押すと曲の頭に戻り、2回押すと前の曲に戻ります。  を押し続けると早送りになり、 を押し続けると早戻しになります。
早送り(すすむ)や早戻し(もどる)をする (ワンタッチサーチ)	ワンタッチサーチ 再生中に  を押す  を押すと早戻し(3秒前にもどる)になり、 を押すと早送り(10秒先にすすむ)になります。
10曲先の曲を聴く (+10 スキップ)	再生中に  を押す 10トラック先の曲が再生されます。
前のフォルダーの曲 や次のフォルダーの 曲を聴く	MP3ディスクに複数のフォルダーが作られているときは、プリセット選択  を押すと切り替えることができます。 プリセット選択 再生中・一時停止中・停止中に  を押す  を押すと次のフォルダーへ進み、 を押すと前のフォルダーに戻ります。
再生スピードを変える (スピードコントロール)	スピードコントロール 再生中に  を押す  を押すたびに+1(110%)→+2(120%)→+3(130%)→+4(140%)→+5(150%)と再生スピードが速くなり、 を押すたびに-1(90%)→-2(80%)→-3(70%)→-4(60%)→-5(50%)と再生スピードが遅くなります。

SDカードの音声を聴く

SDカードの音楽を聴きます。一般に、SDカードはCDのアルバムに相当するフォルダーと、アルバムの中の曲名に相当するトラックで構成されています。

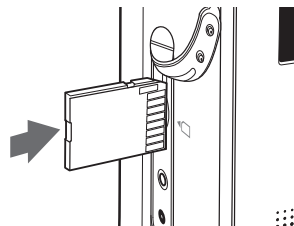
・本機で再生できるSDカードについては9ページをご覧ください。

1 電源 を押し、 を押して「SD」に切り替える

- 電源が入ります。
-  を押すたびに液晶表示部が「CD」⇒「SD」⇒「CD」…と切り替わります。

2 防水用端子カバーを開き、SDカードをSDカード挿入口に差し込む

- SDカードは、表面を本機の背面側に向け、挿入口にカチッと音がするまでしっかり差し込んでください。
- 液晶表示部に「----」が点滅し、ファイルを読み込みます。
- SDカードが読み込まれると、液晶表示部に「総フォルダー数」と「総トラック数」が表示されます。



3 防水用端子カバーをしっかりと閉じる

4 再生 / 一時停止 を押す

- 再生が始まります。再生中の操作のしかたは、「SDカード再生中の操作のしかた」(21ページ)をご覧ください。
- 液晶表示部に「トラック番号」が表示されます。

■ SDカードの取り出し方

防水用端子カバーを開き、SDカードをカチッと音がするまで押しこむと、SDカードが取り出せます。



お願い

- ・本機をお風呂やキッチン、プールサイド、アウトドアなど、水がかかる場所で使う場合は、必ず乾電池を使ってください。また、防水用端子カバーとCDドアを確実に閉め、電池ぶたスライドロックをロックした状態でお使いください。正しくお使いいただかないと、内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となるおそれがあります。

お知らせ

- ・SDカードが入っていない場合は液晶表示部に「No」が、SDカードにファイルがない場合は「No-F」表示されます。
- ・SDカードに複数のフォルダーが作られているときは、 を押すと切り替えることができます。
- ・本機はMP3が再生できます。
- ・MP3の読み込みは少し時間がかかることがあります。

SDカード再生中の操作のしかた

再生する	再生 / 一時停止  を押す SDカードの再生が始まります。 - 液晶表示部に「トラック番号」が表示されます。 1曲目から最終曲まで順に再生し、曲が終了すると停止します。 - レジューム動作時では、前回停止した位置から再生されます。
一時停止する	再生 / 一時停止 再生中に  を押す - 液晶表示部の「▶」が点滅します。 - もう一度押すと再生が始まります。
停止する	停止 再生中に  を押す - 液晶表示部に「総トラック数」が表示されます。 停止  を一度押すとレジューム動作(次回再生時に同じ位置からの再生)となります。レジューム動作を解除するには 停止  を2回押します。
前の曲や次の曲を聴く (スキップ)	スキップ / リサーチ 再生中・一時停止中・停止中に  を押す  を押すと次の曲へ進みます。 - 再生中に  を1回押すと曲の頭に戻り、2回押すと前の曲に戻ります。  を押し続けると早送りになり、 を押し続けると早戻しになります。
早送り(すすむ)や早戻し(もどる)をする (ワンタッチサーチ)	ワンタッチサーチ 再生中に  を押す  を押すと早戻し(3秒前にもどる)になり、 を押すと早送り(10秒先にすすむ)になります。
10曲先の曲を聴く (+10 スキップ)	再生中または停止中に  を押す 10トラック先の曲が再生されます。
前のフォルダーの曲 や次のフォルダーの 曲を聴く	SDカードに複数のフォルダーが作られているときは、プリセット選択  を押すと切り替えることができます。 プリセット選択 再生中・一時停止中・停止中に  を押す  を押すと次のフォルダーへ進み、 を押すと前のフォルダーに戻ります。
再生スピードを変える (スピードコントロール)	スピードコントロール 再生中に  を押す  を押すたびに +1(110%)→+2(120%)→+3(130%)→+4(140%)→+5(150%)と再生スピードが速くなり、 を押すたびに -1(90%)→-2(80%)→-3(70%)→-4(60%)→-5(50%)と再生スピードが遅くなります。

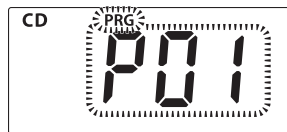
いろいろな聴き方 (再生時の共通操作)

プログラム再生

CD や SD モードのとき、あらかじめ登録した曲順に再生することができます。

1 停止中に を押す

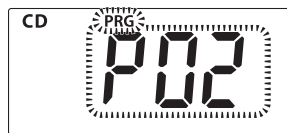
- 液晶表示部の「PRG」と「P01」が点滅します。



CD のとき

2 を押して登録するトラック番号(曲番)を選び を押す

- P01 が登録(プログラム)され、次のプログラム番号「P02」が点滅します。



3 引き続きプログラムを登録する場合は、手順2を繰り返す

- 最大20曲まで登録できます。20曲を登録すると、液晶表示部に「FULL」が表示され設定が終了します。

4 を押す

- P01 から登録した曲順にプログラム再生が始まります。
- CD-DA の場合、液晶表示部に「PRG」と「再生経過時間」が表示されます。
- MP3 ディスク / SD カードの場合、液晶表示部に「PRG」と「再生経過時間」が表示されます。

■ プログラムした次の曲を聴くには

- 再生または一時停止中、停止中に  を押すと、次にプログラムした曲に進みます。

■ 再生中のトラック番号を表示するには

- CD の場合、プログラム再生中に  を押すと、2 秒間トラック番号を表示します。

■ プログラム登録の消去をするには

- 停止中に他の再生モードを選ぶか電源を切ると、プログラム登録は消去されます。
CD の場合、CD ドアを開いたときもプログラム登録は消去されます。

リピート再生・ランダム再生

CDやSDモードのとき、あらかじめ設定した曲(1曲または全曲)を繰り返し再生することができます(リピート再生)。また、全曲を順不同に再生することもできます(ランダム再生)。

・液晶表示部には、1曲リピート再生中は「」、全曲リピート再生中は「 ALL」、ランダム再生中は「RND」が表示されます。

1 停止中、再生中や一時停止中に リピート/ランダム を押して再生モードを選ぶ

- リピート/ランダム  を押すたびに「 (1曲リピート再生)」→  ALL (全曲リピート再生)」→ 「RND (ランダム再生)」→ 「解除 (通常再生)」→ 「 (1曲リピート再生)」の順に切り替わります。

2 停止中または一時停止中の場合は 再生/一時停止 を押す

- 選んだ再生モードで再生します。

■ リピート再生／ランダム再生の取消

リピート再生中またはランダム再生中に、液晶表示部の「」または「 ALL」、「RND」の表示が消えるまで リピート/ランダム  を押すと、リピート再生またはランダム再生が解除されます。

A-Bリピート再生

CDやSDモードのとき、再生中に聞きたい部分の始め(A点)と終わり(B点)を指定して、繰り返し再生することができます。

1 再生中にリピート開始位置(A点)で A-B を押す

- 液晶表示部に「A-B」が点灯し、「」が点滅します。



CDのとき

2 リピート終了位置(B点)で A-B を押す

- 液晶表示部に「」と「A-B」が点灯します。
- リピートするA-B区間が設定され、リピート再生が始まります。



■ A-Bリピート再生の取消

A-Bリピート再生中に 再生/一時停止  または 停止  を押すと、A-Bリピート再生が解除されます。

ご注意

- ・トラックをまたいでの再生はできません。
- ・ランダム再生中は、A-Bリピート再生できません。

ラジオを聴く

周波数を選んでFM/AM放送を聴く

1 電源  を押す

- 電源が入ります。

2  を押してFMまたはAM放送を選び  を押して周波数を選ぶ

-  を押すたびに液晶表示部が「FM」⇒「AM」⇒「FM」…と切り替わります。
-  を押すたびにFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変化します。

■ オートスキャン選局するには

手順2で  を長押しすると、周波数のスキャンを開始し、受信状態の良い放送局を受信すると自動的にスキャンを停止します。

放送局を選んでプリセット登録をする

お気に入りの放送局をプリセット登録をすると、簡単に選局できます。

FMは20局まで、AMは10局までプリセット登録できます。

1 電源  を押す

- 電源が入ります。

2  を押してFMまたはAM放送に切り替える

-  を押すたびに液晶表示部が「FM」⇒「AM」⇒「FM」…と切り替わります。

3  を押して放送局を選ぶ

4  を押し、  で登録したいプログラム番号を選択する

- 液晶表示部の「PRG」と「プログラム番号」が点滅します。

5  を押す

- プリセットが登録され、液晶表示部の「PRG」が点灯します。

6 引き続きプリセット登録する場合は、手順3～5を繰り返す

- 同じプログラム番号に別の放送局を登録すると、前に登録されていた局は消えます。

プリセット登録した放送局を選んでFM/AM放送を聴く

1 電源  を押す

- 電源が入ります。

2  を押してFMまたはAM放送に切り替える

-  を押すたびに液晶表示部が「FM」⇒「AM」⇒「FM」…と切り替わります。

3 プリセット選唱
 を押して放送局を選ぶ

- P01からプリセット登録した順に放送局が切り替わります。
- 液晶表示部に「PRG」と「プログラム番号」を表示し、「周波数」が表示されます。

ラジオを聴く(つづき)

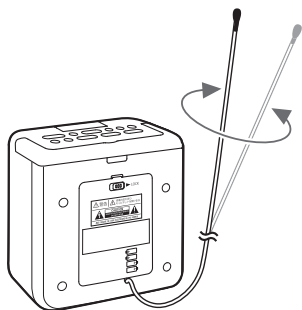
よりよい受信をするために

受信環境により電波状態が変わります。

電波状況の悪いところではうまく受信できない場合があります。窓側など電波状態が良い場所を探してお使いください。

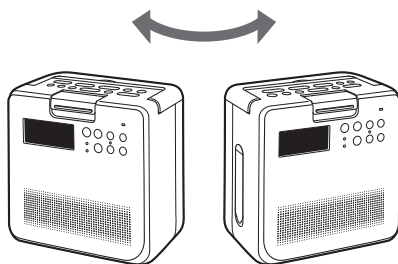
■ FM放送の場合

電池ぶたをはずし、FMアンテナを切り欠きに沿わせて引き出して、最もよく聞こえる方向に調整してください。



■ AM放送の場合

本体の向きを変えて調整してください。



お願い

- ・電池ぶたの取り外し／取り付けは、「乾電池(別売り)でご使用のとき」(15ページ)をご覧ください。
- ・電池ぶたを取り付けるときは、FMアンテナコードを挟まないように、必ず切り欠きに沿わせてコードを引き出してください。詳しくは、「FMアンテナコードを引き出すときは」(11ページ)をご覧ください。
- ・FMアンテナコードの収納方法は、「FMアンテナコードを収納するときは」(11ページ)をご覧ください。
- ・FMアンテナを扱う場合は無理に引っ張ったりしないでください。アンテナが破損する可能性があります。
- ・近くに置いたテレビの画面に色ズレが生じたり、本機のラジオにテレビやパソコンからの雑音が入る場合は、本機をテレビやパソコンから離してください。

FMステレオ放送の受信について

- ステレオ放送を受信すると液晶表示部に「ST」が表示されます。受信状態が悪化すると自動的にノイズの少ないモノラルに切り替わり、「ST」表示は消えます。
- FMステレオ放送受信時に  を押すと、ステレオからモノラルに切り替えることができます。
- AMステレオ放送には対応していません。

Bluetooth®を使う

お手持ちのBluetooth®対応機器を接続して本機から音声を聴いたり、本機の音声を聴くことができます。

- 同時に2台以上のBluetooth®対応機器とは接続できません。再生が終わったらBluetooth®対応機器の接続を解除してください。
- Bluetooth®の音声は、SDカードへ録音はできません。

Bluetooth®対応機器の音声を聴く(受信モード)

お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどのBluetooth®対応機器の音声を本機で聴くことができます。

1 対応機器のBluetooth®を有効にする

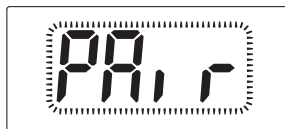
- Bluetooth®を有効にする操作は、対応機器の取扱説明書をご覧ください。

2 電源 を押す

- 電源が入ります。

3 受信/送信 を押し、Bluetooth®の受信モードにする

- Bluetooth®受信ランプと液晶表示部に「PAir」が点滅します。
- リモコンの 受信/送信  を長押しして、Bluetooth®の受信モードにできます。



4 対応機器で「TY-CB100」を選ぶ

- ペアリングが完了すると電子音が流れ、Bluetooth®受信ランプと液晶表示部に「PAir」が点灯します。
- 対応機器側で「Bluetooth接続しますか？」などの画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。

5 対応機器を再生する

- 本機のスピーカーから音声が流れます。
- 再生、停止などは対応機器側で操作してください。
- 音量は本機側で操作をしてください。機種によっては対応機器側で調整できます。
- ペアリングを解除するときは、 または  を押して再生モードを切り換えてください。

Bluetooth®を使う(つづき)

お知らせ

- 一度ペアリングしたBluetooth®対応機器と、再度ペアリングする場合は、対応機器のBluetooth®を有効にし、を押すことで自動的にペアリングされます。もし、ペアリングできない場合は、上記手順にしたがって操作してください。
- 接続が完了したら、対応機器を本機から離してください。
- Bluetooth®対応機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法・表示、動作が異なる場合があります。
- 本機でBluetooth®対応機器の音声を聴くには、Bluetooth®対応機器が以下に対応している必要があります。

Bluetooth®バージョン

Bluetooth®標準規格 ver4.2

Bluetooth®プロファイル

Advanced Audio Distribution Profile(A2DP)、Audio/Video Remote Control Profile(AVRCP)

Bluetooth®対応機器から音声を聴く(送信モード)

CDやSDモードのとき、お手持ちのスピーカーやヘッドホンなどのBluetooth®対応機器から本機の音声を聴くことができます。(ラジオ放送を聴くことはできません。)

1 対応機器のBluetooth®を有効にする

- Bluetooth®を有効にする操作は、対応機器の取扱説明書をご覧ください。

2 電源 を押し、 を押して「CD」または「SD」を選ぶ

- 電源が入ります。
- を押すたびに液晶表示部が「CD」⇒「SD」⇒「CD」…と切り替わります。
- CDまたはSDの読み込みが完了し停止状態になります。

3 を長押しし、Bluetooth®の送信モードにする

- ペアリングが開始されると、Bluetooth®送信ランプが点滅します。
- 対応機器側で「Bluetooth接続しますか？」などの画面が表示された場合は、「はい」を選択してください。

4 Bluetooth®送信ランプが点灯表示になったことを確認する

- ペアリングが完了すると、Bluetooth®送信ランプが点灯します。

- 再生/一時停止  を押しと、対応機器側から音声流れます。
- 本機は最も近くにあるペアリング可能なBluetooth®対応機器を探してペアリングを行います。ペアリングできない場合は本機とBluetooth®対応機器を近づけてください。
- 再生、停止、音量などは本機器側で操作してください。機種によっては対応機器側で操作できます。
- 受信/送信  を長押しすると、ペアリングは解除されます。

電話を受ける(ハンズフリー通話)

本機とスマートフォンがBluetooth®で接続された状態でスマートフォンに電話が掛かってきた場合、本機のスピーカーから相手の音声聞こえ、内蔵マイクを通して自分の声が送信することができます。(ハンズフリー通話)

1 本機とスマートフォンをBluetooth®接続する

- 接続の詳細は、「Bluetooth®対応機器の音声を聴く(受信モード)」(27ページ)をご覧ください。

2 本機から着信音が聴こえたら、を押す

- 電話がつながり、スピーカーから相手の音声聞こえます。
- 声を送信するときは、マイクに向かって話してください。
- 電話を切るときは、を押してください。
- 電話を切ると、ハンズフリー通話は解除されます。

お知らせ

- ・通話時の音量は、本機側でも対応機器側でも操作できます。
- ・スマートフォンの通話用アプリには対応していません。

SDカードに録音する

CDやマイクからの音声をSDカードに録音することができます。

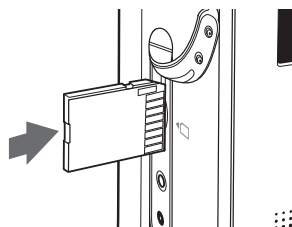
SDカードを準備する

1 電源 を押し、 を押して「SD」に切り替える

- 電源が入ります。
-  を押すたびに液晶表示部が「CD」⇒「SD」⇒「CD」…と切り替わります。

2 防水用端子カバーを開き、SDカードをSDカード挿入口に差し込む

- SDカードは、ロックを解除してから表面を本機の背面側に向け、挿入口にカチッと音がするまでしっかり差し込んでください。
- 差し込んだSDカードを認識したことを確認してください。液晶表示部に「Err」が表示されたときは認識されていません。また、ファイルがひとつも記録されていない場合は「No-F」、空き容量が無い場合は「FULL」と表示されます。



お知らせ

- 録音できる音源はCD/MP3ディスクと内蔵マイクからの音声です。
- ラジオは録音できません。
- 録音する前にSDカードの空き容量を確認してください。
- SDカードのメモリーがいっぱいになると自動的に止まります。

ファイルの作成について

- 新たに録音を開始するたびに曲順ごとにファイルが作成されます。また、同じCDの録音でも、録音を停止するたびに新たにファイルが作成されます。
- 音源を切り替えしないで録音の停止、録音を繰り返すと、同じフォルダー内に録音停止ごとに1ファイルとして録音されます。

音楽CDを録音する

■ CDを準備する

1  を押して「CD」に切り替える

-  を押すたびに液晶表示部が「CD」⇒「SD」⇒「CD」…と切り替わります。

2 CDドアロックレバーをはずし、CDドアを開け、
印刷面を手前にしてCD装着部にCDをセットする

- CDドアロックレバーの開閉時は、本体をしっかりと手で支えてください。
- CDは正しい向きで入れてください。ラベル面が前面側です。
- CDは軸にしっかりとめ込んでください。

■ 全曲録音する

1 総再生時間または総トラック数が表示されている状態で  を長押しする

- SD録音ランプが点灯し、液晶表示部に以下の通り表示され、全曲が録音されます。
CD-DA：「REC」と「再生経過時間」 MP3ディスク：「REC」と「トラック番号」
- 録音を中止するときは  を押してください。

■ 一曲録音する

1  を押して録音したい曲を選び、 を押す

2  を長押しする

- SD録音ランプが点灯し、液晶表示部に以下の通り表示され、選んだ曲が録音されます。
CD-DA：「REC」と「再生経過時間」 MP3ディスク：「REC」と「トラック番号」
- 録音を中止するときは  を押してください。

お知らせ

- ・プログラム設定時にも録音をすることができます。
- ・録音中はSDカードを抜かないでください。データが壊れる場合があるので必ず  を押してから抜いてください。
- ・録音中は各モード(CD/SD/ラジオ)、スキップ/サーチ、ワンタッチサーチ、お好み選局などの各ボタン操作はできません。
- ・電池使用時は十分に電池容量があることをご確認ください。

SDカードに録音する(つづき)

音声を録音する(ボイス録音)

内蔵のマイクを使って、音声をSDカードへ録音できます。

1 CDが停止中に を押す

- マイクが入ります。

2 を長押しする

- SD録音ランプが点灯し、液晶表示部に「REC」と「MIC」が表示され、SDカードに音声
が録音されます。
- 録音を中止するときは  を押してください。
- CDとのミキシング録音を行う場合は、 と  を同時に長押ししてください。

ご注意

- ・内蔵マイク の音はスピーカーからは出力されません。イヤホン(ヘッドホン)で確認できます。
- ・ボイス録音は、CD停止中のみ有効です。

録音したデータを消去する

SDカードに録音したデータを消去します。

ご注意

- ・消去したデータは元に戻すことはできません。
- ・SDカードがロックされている場合、カードのデータを削除できません。ロックを解除してください。

SDカードを準備する

1 本体に水滴が付いている場合は、水滴を十分にふき取る

- 内部に水が入ると、ショート・感電することがあります。

2 電源 を押し、 を押して「SD」に切り替える

- 電源が入ります。
-  を押すたびに液晶表示部が「CD」⇒「SD」⇒「CD」…と切り替わります。

3 防水端子カバーをめくり、SDカードをSDカード挿入口に差し込む

- 差し込んだSDカードを認識したことを確認してください。液晶表示部に「Err」が表示されたときは認識されていません。

データを消去する

■ ファイルを消去する

1 停止中に スキップ/サーチ で消去したいトラックを選び を長押しする

- 液晶表示部の「DEL」と「トラック番号」が点滅します。

2 を長押しする

- 選んだファイルが消去されます。
- 液晶表示部の「DEL」と「トラック番号」が点滅中に  を押さずに10秒経つと、消去はキャンセルされます。

録音したデータを消去する(つづき)

お知らせ

- フォルダー内のファイルがすべて消去されると、そのフォルダーも消去され、以降のフォルダー番号が繰り上がります。

■ フォルダーを消去する

1 停止中に  で消去したいフォルダーを選び  を長押しする

- 液晶表示部の「DEL」と「フォルダー番号」が点滅します。

2  を長押しする

- 選んだフォルダーが消去されます。
- 液晶表示部の「DEL」と「フォルダー番号」が点滅中に  を押さずに 10 秒経つと、消去はキャンセルされます。

■ SDカード内のデータをすべて消去する

1 停止中に  を長押しする

- 液晶表示部の「ALL」が点滅します。

2  を長押しする

- SDカード内のすべてのデータが消去されます。
- すべてのファイルが削除されると「No-F」と表示されます。
- 液晶表示部の「ALL」が点滅中に  を押さずに 10 秒経つと、消去はキャンセルされます。

お手入れのしかた

お手入れのときは、本機のACアダプターをコンセントから抜いてください。

本体のお手入れ

柔らかい布でよごれを軽く拭き取ってください。よごれがひどいときは、水でうすめた中性洗剤に浸した布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

お願い

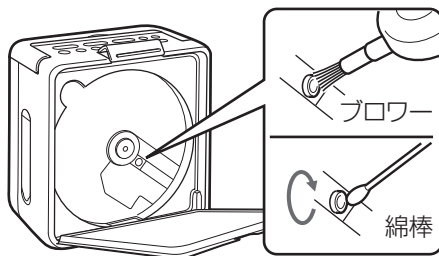
- ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。

CDピックアップ(レンズ)部

- CDピックアップ(レンズ部)を強く押したり、衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- CD装着部のレンズがよごれると、音とびが起きたり、再生ができなくなったりします。
- ホコリなどは、市販のプロワーでレンズを2、3回拭き、ブラシの先でホコリを掃き出します。指紋などレンズについたよごれは、市販のレンズクリーナーを綿棒につけ、レンズの中心から外に向かって、円を描くように軽く拭いてください。

お願い

- レンズを指で拭かないでください。



故障かな？と思ったとき

症 状	原 因	処置方法
電源関係		
操作を受け付けない	●内部回路が動作していない	→ ACアダプターをいったん抜いて、しばらくたってから再び差し込む
音が出ない	●音量レベルが下がっている ●ヘッドホンが差し込まれている ●音源切り替えがあっていない	→ 音量レベルを調節する → ヘッドホンははずす → 音源切り替えを合わせる
CD関係		
音が出ない	●CDピックアップ部がよごれている ●CD/MP3ディスクに傷、よごれ、指紋、油、ホコリがついている	→ 「CDピックアップ(レンズ)部」(35ページ) → CD/MP3ディスクを交換する → CD/MP3ディスクのよごれを取り除く
再生が始まらない	●CDピックアップ部がよごれている ●CD/MP3ディスクが裏返しになっている ●CD/MP3ディスクがよごれている ●8ページ「CDについて」に記載されたCD/MP3ディスクではない	→ 「CDピックアップ(レンズ)部」(35ページ) → ラベル面を前面(手前)にして、正しい向きで入れてください → CD/MP3ディスクのよごれを取り除く → 「CDについて」(8ページ)に記載されたCD/MP3ディスクと交換する
音がとぶ	●CD/MP3ディスクに大きな傷や反りがある ●振動する場所に設置している ●電池の残量が減っている。	→ CD/MP3ディスクを取り替える → 振動のない場所に設置する → すべての電池を新しいものに交換する
SDカード関係		
音が出ない	●SDカードに傷がある	→ SDカードを交換する
再生できない	●9ページ「SDカードについて」に記載されたSDカードではない	→ 「SDカードについて」(9ページ)に記載されたSDカードと交換する
録音できない	●9ページ「SDカードについて」に記載されたSDカードではない ●空き容量がない	→ 「SDカードについて」(9ページ)に記載されたSDカードと交換する → 十分空き容量のあるSDカードと交換する
ラジオ関係		
雑音が多く聞きづらい	●電源雑音の影響を受けている ●モーター、蛍光灯などの電気器具、テレビによる雑音の影響を受けている ●電波が弱い	→ 電源プラグの刃向きを差し替える → 本機を雑音源から離す → テレビを消す、またはテレビから離す → FMアンテナを調節する

症 状

原 因

処置方法

Bluetooth®

音がとぎれる 音が飛ぶ 雑音が多い	●Bluetooth®通信使用可能距離 (約10m)を超えている、もしくは 間に障害物があったり、他機器から 影響を受けたりしている	→ 機器に近づける、または障害物を避 けて使用する
つながらない	●Bluetooth®の対応機器バージョン、 プロファイルが違う	→「Bluetooth®対応機器の音声を聴 く(受信モード)」(27ページ)に 記載されたバージョン、プロファイ ルに対応した機器を使用する。

お願い

- 操作中に表示や動作が異常になった場合は、一度  を押し電源を切ってからACアダプターを外し、しばらくたってから再度ACアダプターをつないで、再度操作してください。
- 長時間使用していると本体の一部が多少熱くなることがありますが、故障ではありません。

仕 様

CD 部

チャンネル数	2チャンネルステレオ
サンプリング周波数	44.1kHz
メディア	CD、CD-R/RW(CD-DAフォーマット／MP3オーディオファイルで記録された音楽ディスク)

SD カード部

再生形式	MP3(MPEG-1 Audio Layer 3(～192kbps))
対応メモリー	32MB～32GB SD、SDHCカード(別売)
再生可能SDカード	SDA規格認定品(Class2、Class4)

ラジオ部

受信周波数	FM：76.0～108.0MHz(0.1MHzステップ) AM：531～1710kHz(9kHzステップ)
-------	--

Bluetooth[®] 部

バージョン	Ver 4.2 対応プロファイル A2DP、AVRCP
見通し通信距離	約10m

共通部

電源	AC100V 50/60Hz 単3形乾電池×4本(別売)電池寿命：CD再生時約8時間、ラジオ約30時間
スピーカー	φ3.6cm コーン型×2
実用最大出力(*)	0.5W+0.5W
入出力端子	ヘッドホン出力：φ3.5mmステレオミニジャック SDカード挿入口：SD規格に準拠した入力端子
動作電圧(*)	DC4.5V
保護等級	JIS 第二特性数字5等級(IPX5)相当(**)
最大外形寸法	幅145mm×高さ150mm×奥行63mm(突起物含まず)
質量	約0.6kg(乾電池含まず)
付属品	ACアダプター、クリップ付きリモコン、保証書付取扱説明書(本書)

仕様および外観は改良のため予告なく変更する場合があります。

(*) 印は(社)電子情報技術産業協会の定める「JEITA規格」による測定値。

(**) JIS 第二特性数字5等級とは、あらゆる方向からの噴流水によっても有害な影響を及ぼしてはならない。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.
No servicing is available outside of Japan.

保証とアフターサービス

必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝エルイトレーディングサポートセンター

フリーダイヤル

0120-28-0488

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話・IP電話など

050-3786-0488（通話料：有料）

FAX

03-3258-0470（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供することがあります。

保証書（一体）

- 保証書は、この取扱説明書の裏表紙に記載されています。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の保有期間

- SD/CD ラジオの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。
- 補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

修理を依頼されるときは

持込修理

36ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

- 本機は国内専用です。国外での使用に対するサービスは対応できかねますので、ご了承ください。

☐ 保証期間中は.....

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

☐ 保証期間が過ぎているときは.....

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

☐ 修理料金のしくみ.....

修理料金は技術料・部品代などで構成されています。

技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利 メモ	お買い上げ日	年	月	日
	お買い上げ店名	電話（ ）		



愛情点検

長年ご使用の機器の点検をぜひ！

このような
症状はあり
ませんか。

- AC アダプターに傷がある
- 煙が出る
- 変なにおいがする
- その他の異常や故障がある

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

こんなときには